

保育施設で多い感染症（参考）

<保護者のみなさまへ>

保育施設は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことで、一人一人の子どもが一日快適に生活できるよう、下記の感染症について、「登所（園）のめやす」を参考に、かかりつけ医の診断に従ってください。

感染しやすい期間を考慮したうえで、子どもの症状や体調が回復し、保育施設での集団生活可能な状態となつてからの登所（園）になるようご注意ください。

感染症名	感染しやすい期間	登所（園）のめやす
溶連菌感染症	適切な抗菌薬を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24時間から48時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手足や口腔内（口の中）に水疱（水ぶくれ）・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅班（リンゴ病）	発しん出現前の1週間	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎（ノロ、ロタ、アデノウイルス等）	症状のある間と、症状消失後1週間（量は減少していくが数週間ウイルスを排泄しているので注意が必要）	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間（便の中に1か月程度ウイルスを排泄しているので注意が必要）	発熱や口腔内（口の中）の水疱（みずぶくれ）・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
RSウイルス	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
帯状疱疹しん	水疱（水ぶくれ）を形成している間	すべての発疹が痂皮化（かさぶた化）してから
突発性発しん	明確に提示できない	解熱し機嫌がよく全身状態が良いこと